

第32軍司令部壕展示施設 住民説明会

第1回・第2回展示施設住民説明会での
意見に対する回答について
【説明資料】

令和8年1月13日・14日

沖縄県知事公室
平和・地域外交推進課

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の開催概要

■展示施設住民説明会の開催概要

これまでの経緯や施設整備の概要について地域住民の方々に説明するとともに、地域住民からの意見を計画に反映させるため、以下のとおり住民説明会を開催した。

日時:第1回 令和7年12月8日(月) 19:00~21:30(参加人数48名)

第2回 令和7年12月9日(火) 19:00~22:00(参加人数54名)

※両日とも同様の説明内容

場所:県立芸術大学(当蔵キャンパス)一般教育棟3階大講義室

■意見概要

- (1)展示施設の整備場所の見直しを求める意見
- (2)既存の路上駐車等を懸念する多くの意見
- (3)交通渋滞を懸念する多くの意見
- (4)展示内容に関する意見
- (5)文化財保護・活用に関する意見
- (6)第2、第3坑道の見学に関する意見
- (7)首里城公園内で第32軍司令部壕の案内を求める意見
- (8)地域や他の展示施設の連携を求める意見
- (9)展示施設の入館者数、運営に関する意見
- (10)整備予算、財源に関する確認
- (11)モデルルートに関する意見
- (12)近隣住民の生活に与える影響に関する意見
- (13)壕内や展示施設整備に関する安全面の確認の意見
- (14)第1坑口の発掘調査期間、坑口再現に関する意見
- (15)情報発信に関する意見
- (16)検討委員に住民代表の加入を求める意見
- (17)その他

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(1) 展示施設の整備場所の見直しを求める意見		
<ul style="list-style-type: none"> • 第1坑口周辺や同周辺地下に整備できないか • 首里杜館地下駐車場を活用できないか • 公開坑道を整備しその中に展示機能を持たせては 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 国・県指定史跡地区となり土地の改変行為が困難であり、壕に近接した場所に必要面積を確保できない上に、周辺景観に与える影響が大きい。 ➤ 首里杜館地下駐車場は、多様な利用者のための施設であり、活用が難しい ➤ 第1坑道は崩落等による立入り不可区間の範囲が多く現時点で公開坑道の整備は困難。 	<p data-bbox="1591 272 1843 439">【参考資料p.1】 首里城公園エリアの史跡指定範囲図</p> <p data-bbox="1591 715 1843 839">【参考資料p.2】 第32軍司令部壕の崩落状況</p>

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(3) 交通渋滞を懸念する多くの意見		
<ul style="list-style-type: none"> • 交通渋滞対策の検討内容は • 展示施設へのモデルルートや渋滞時の回避ルートを示して • 朝の通学時間帯のバスの進入をやめてほしい(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 別添参照 ➤ 基本的に公共交通の利用を促します。また、車で来られる方に対しては首里城公園線や赤田寒川線(赤まるそう通り)を利用したの来館を想定しています。 ➤ 展示施設への駐車待ち車両による渋滞が発生し回避ルートとして生活道路に進入することがないように、展示施設駐車場入口への警備員配置や満車・空車情報のホームページでの発信などを行います。 ➤ 展示施設の開館時間は、沖縄県平和祈念資料館などの開館時間(9時～17時)を参考に今後検討していきます。 ➤ このため、朝の通学時間帯に本展示施設に関連したバスの進入はないものと考えております。 	<p>【参考資料p.3】 交通渋滞対策</p>

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(4) 展示内容に関する意見		
<ul style="list-style-type: none"> • 保存・公開の理念に賛成、必ず実現してほしい • 発掘調査や坑道内を見学できるようになることは嬉しい • 平和祈念資料館と連携し戦争に至る道筋を展示してほしい • 若い人をターゲットにすることや意見を求める • 軍事施設であり住民視点を重視した展示を • 女性たちの部屋など坑道内の各部の機能を説明してほしい • 「なぜこのようなことが起きたのか、今後、そのようなことがないように」という部分は、明確に打ち出すべきと思うが、県として主観的な考えはあるか • 政権が変わっても貫く沖縄県平和憲章のものを発信しては 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 展示施設基本計画における展示内容については、その方針、展示フロー、各ゾーンの整備方針(ねらい)と展示内容、配置計画と観覧動線計画、各ゾーンにおける展示手法のイメージ、壕及び展示施設の一体的な活用と地域との共生のイメージパスを示す予定です。 ➤ また、伝えたいメッセージとしては、住民の視点を大切にし、人間の生命と尊厳を何よりも重んじる文化の醸成を目指すこと、戦争を否定し、希望を持って生きていける未来へと繋がっていくことを伝えていきます。 ➤ さらに、計画策定後は、監修委員会を設置し、史実に基づきながら、展示構成図、平面図等の詳細図、パネル(グラフィック)、映像装置、説明文の文字数や表記ルールなど、具体的な展示内容を検討していくこととしています。 	

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(4) 展示内容に関する意見		
<ul style="list-style-type: none">展示内容に対する政治団体による抗議への懸念	<ul style="list-style-type: none">➤ 展示内容に対する抗議活動が行われることについては、県内外の類似の資料館における事例と対応策を確認しながら、地域住民の皆さまへ影響が出ないような対策も含め、検討していくこととしています。	

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(5) 文化財保護・活用に関する意見		
<ul style="list-style-type: none"> • 文化財調査は、調査中の様子を公開しながらの実施を • 出土した遺物は公開予定の壕内での展示検討を • 第5坑道内部は当時の状況を見られる対策・工法を • 見学者が壕内部を直に触れたり落書しており、対策は困難では 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 文化財調査は、調査の様子を公開しながら発掘調査を実施していきます。 ➤ 出土した遺物は、今後、考古学的な価値づけを行うこととしており、その公開方法については、展示施設基本計画策定後に設置を予定している監修委員会において検討を行っていきます。 ➤ 第5坑道内部については、今後、考古学的調査を予定しており、その中で当時の状況を見られる対策や工法を検討してまいります。 ➤ 見学者を壕内部に入れる際は、ガイドが付き添い案内を行うこととしており、直に壕の壁面等に触れないよう注意喚起を行う等、対策を行うこととしています。 	<p>【参考資料p.4】 文化財指定範囲図</p>

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(6) 第2、第3坑道の見学に関する意見		
<ul style="list-style-type: none"> • ガラス張りでもいいので見学できるようにしてほしい • 将来的に坑道内部に入って見学できるように検討を 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和7年3月に策定した第32軍司令部壕保存・公開基本計画において、保存・公開の基本的な考え方を定めており、その(3)に安全性の十分な確保と劣化防止として、「壕内に見学者を入れて公開を行う箇所は、見学者及び施設管理上の安全性を十分確保できる範囲に限ることとし、また、壕内に見学者を入れることで損傷、劣化が比較的早く進む可能性が高い箇所は、壕内への立ち入りによる公開は行わず保存することを基本とします。」と定めています。 ➤ この基本的な考え方にに基づき、第2・第3坑道については、見学者を坑道内部へ立ち入りさせないことが適当と考えています。 ➤ その上で、当該箇所は、沖縄戦の指揮を執っていた司令長官室や参謀室等の中枢機能が集まっていた区域であるため、沖縄戦の実相を伝えるために、このエリアの活用に努める必要があります。 	<p>【参考資料p.5-6】 第32軍司令部壕保存・公開基本計画抜粋</p>

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(6) 第2、第3坑道の見学に関する意見		
<ul style="list-style-type: none"> • ガラス張りでもいいので見学できるようにしてほしい • 将来的に坑道内部に入って見学できるように検討を 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 一方、第2・第3坑道に近接した地上及び地下部分は、首里杜館等の既存施設が設置されていることに加え、首里城公園の防災関係の重要インフラ等も埋設されている箇所となるため、第32軍司令部壕の関連施設の整備を行うには多くの課題があり、非常に困難であると認識しています。 ➤ このため、場所の重要性と整備上の課題を関係機関と共有しながら、坑道内部に立ち入らず坑道内部の状況を見学する適当な方法について、引き続き検討していただくこととします。 	<p>【参考資料p.5-6】 第32軍司令部壕保存・公開基本計画抜粋</p>

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(7) 首里城公園内で第32軍司令部壕の案内を求める意見		
<ul style="list-style-type: none"> • 首里城公園内で第32軍司令部壕の案内を求める意見 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第1坑口部分では、令和8年度にデジタルジオラマの整備を予定しており、その中で、第32軍司令部壕の全体像や第1坑口の機能等について、情報を発信していくこととしています。 ➤ その際、首里杜館や首里城公園所属ガイドとも連携し、首里城公園来園者に対し、効果的な案内機能を確認できるよう調整を行ってまいります。 ➤ また、令和11年度には、第1坑口の再現を行う予定となっており、周辺にある掩蔽(えんぺい)壕や通信所跡、学徒隊や新聞社の壕として使用された留魂(りゅうこん)壕との関連性も鑑み、この場所の重要性を理解してもらえるよう公開方法を検討してまいります。 	

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(8) 地域や他の展示施設の連携を求める意見		
<ul style="list-style-type: none"> • 首里高校(養秀会館)との連携を • 沖縄県平和祈念資料館、ひめゆり平和祈念資料館と連携し平和学習の充実を 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第32軍司令部壕をはじめとした首里地区内の戦争遺跡や歴史施設等を見学する際のモデルルートの検討、首里の街並みの紹介、事業やイベントなどについて、首里地区の関係団体との連携策の検討を行います。 ➤ 関連施設・機関との連携については、以下を検討しています。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 企画展や特別展においては、県内外の施設から借用した沖縄戦関連資料の展示や、埋蔵文化財センターの発掘調査結果の展示 ◆ 首里城公園首里杜館でのVR体験会の開催 ◆ 首里城公園、沖縄県平和祈念資料館、旧那覇市歴史博物館(中城御殿跡地に整備予定)などの周辺施設の共通チケットの販売 ◆ ひめゆり平和祈念資料館など平和・人権関連の施設と広く連携し、平和学習の充実を図ります。 	

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(9) 展示施設の入館者数、運営に関する意見		
<ul style="list-style-type: none"> • 観覧料は県施設でもあり無料に、国内外の観覧者で差別化を • 展示施設の開館時間の確認、夜間(18時以降)は閉じるのか • 想定している入館者数は何人か 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 観覧料は、類似施設を参考に検討していきます。その際、団体や児童・生徒などは、低廉な料金設定を検討します。また、第5坑道への入壕料金、ガイド料金などについても、類似施設を参考に検討します。 ➤ 開館日や開館時間については、施設の適切な管理運営、利用者の利便性及び類似施設の開館日時、夜間の防犯面等を勘案し、検討することとなると思われます。 ➤ 開館時間の想定としましては9時から17時を現時点では考えております。 ➤ 年間来館者数については、観光客の旅行目的における戦跡地参拝の割合、修学旅行生や沖縄県内の平和学習、類似施設の状況、住民説明会の意見等を参考に、推計を行ってるところです。 	<p>【参考】 ひめゆり40万、 沖縄県平和祈 念資料館30万 人、海軍壕10万 人、対馬丸記念 館2万人</p>

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(10) 整備予算、財源に関する確認		
<ul style="list-style-type: none"> • 整備予算、財源に関する確認 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 整備費用については、現在、第32軍司令部壕の保存・公開を行っていくにあたり、検討委員や地域住民の意見なども踏まえ展示施設の規模など必要な施設の精査を行っているところであり、その内容が整理できた段階でお示ししたいと考えております。 ➤ また、整備財源は、これまで一般財源を充当しており、今後、それ以外の財源確保も含め関係機関と調整を行っていくこととしています。 	

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(11)モデルルートに関する意見		
<ul style="list-style-type: none"> • 弁ヶ岳通信所跡、久場川の慰霊碑などモデルルートに加えること、各施設での住民証言も含め展示してほしい • 白百合の塔、轟の壕など県全体のモデルルートの検討を • 首里城見学者から司令部壕を見学する動線計画の検討を 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域のまちづくりを行う団体と連携を行い、首里地区に残る戦跡・史跡を巡るモデルルートを作成していきます。 ➤ また、地域に残る証言についても関係者へのヒアリングを行うとともに、展示方法については、基本計画策定後に設置する監修委員会において検討を行うこととしています。 ➤ 県全体のモデルルートについては、沖縄県平和祈念資料館やひめゆり平和祈念資料館などの展示施設や各戦跡を管理している市町村とも連携し、沖縄戦の史実を辿ることができるモデルルートの検討を行っていきます。 ➤ 首里城来園者の司令部壕を見学する動線については、見学者の各エリア間の移動を円滑にするための対応策を検討していきます。 	

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(12) 近隣住民の生活に与える影響に関する意見		
<ul style="list-style-type: none"> • 第5坑口につながる既存の狭い道は通らないでほしい • なるべく渋滞が起きないようにお願いしたい • バス、団体客の騒音、排気ガス、子ども達の安全への配慮、来場者の目線を防ぐため、下の駐車場にバス駐車場の設置を • 2階多目的室、トイレも来場者の目線、声を防ぐ観点から移動 • 市道赤田寒川線の駐停車を防ぐため下の駐車場にタクシー、バスロータリーの設置を • 全ての施設、歩道から来場者の目線を切る配慮、喫煙所の設置不可 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 近隣住民の意見も確認しながら、検討委員会において、展示施設の諸室構成、駐車場の配置等を検討していきます。 	

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(13) 壕内や展示施設整備に関する安全面の確認の意見		
<ul style="list-style-type: none">第5坑道内の安全対策の検討状況は展示施設整備にあたり第5坑道への影響がないのか確認を	<ul style="list-style-type: none">➤ トンネル工学分野の専門家の意見を確認し、第5坑道内の安全対策を検討していくこととしています。➤ また、展示施設の整備にあたっては、坑道直上からの離隔を確保して配置するほか、展示施設の基礎を坑道に影響を与えない地下深くの硬い地盤に杭を直接打ち込む杭基礎工法とする等、建物の荷重を第5坑道にかけないような設計とすることで、影響を及ぼさないよう整備できるものと考えております。	

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(14) 第1坑口の発掘調査期間、坑口再現に関する意見		
<ul style="list-style-type: none"> • 第1坑口の発掘調査期間、坑口再現に関する意見 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第1坑口は、以下のとおり令和11年度の公開を予定しており、遊歩道の整備や、第1坑口を再現する等、当時の状況をより感じることの出来る公開方法を検討していきます。 ◆ 令和8年度 発掘調査 ◆ 令和9年度 調査結果の整理、坑口等の再現計画 ◆ 令和10年度 坑口等の再現設計 ◆ 令和11年度 整備工事後に公開 	
(15) 情報発信に関する意見		
<ul style="list-style-type: none"> • ユーチューブを活用して情報発信してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 専用ホームページの充実、SNS等を通し情報発信を充実させていきます。 	<p>【参考資料p.7】 専用ホームページ</p>


第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(16) 検討委員に住民代表の加入を求める意見		【参考】 検討委員は沖縄戦研究、展示施設等、平和ガイド平和学習、DXによる情報発信、建築工学の各分野から10名の委員で構成
<ul style="list-style-type: none"> • 検討委員の中に住民の代表を入れてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 本検討委員会は、展示施設基本計画を策定するにあたり、各分野の有識者から意見を聴取する目的で設置しています。 ➤ 地域住民の皆さまからの意見については、住民説明会や今後設置を検討している首里地区の住民や関係団体とのワークショップを通して意見聴取を行い、必要に応じて基本計画に反映していくこととしています。 	

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(17)その他		
<ul style="list-style-type: none"> ・館山のように地域団体が戦跡を活用すべき ・第5坑口付近民有地の県有地とすることに協力したい ・ガイド養成に関する意見 ・広島は2年で伝承者を養成。アウシュビッツのガイドはレベルが高い ・初の県指定史跡としてガイドを育成し報酬支給の検討も 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域とともに歩む施設づくりを目指していくにあたっては、首里地区のまちづくりを担っている各種団体と連携を行っていくことは重要と認識していますので、効果的な連携策について今後調整を行っていくことを考えています。 ➤ 第32軍司令部壕の保存・公開の取組に協力いただき感謝します。 ➤ 第32軍司令部壕を史実等に基づき沖縄戦の実相を伝えることができるガイドを養成するため、ガイドテキストを用いた講座やフィールドワークを実施していきます。 ➤ また、ガイドの身分等については、今後、展示施設の運営形態や組織体制を構築していく中で検討を行っていきます。 	<p>【参考資料p.8】 ガイドテキストやガイドのモデルルート</p>

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(17)その他		
<p>・赤田寒川線や首里城公園内など坑道部分はカラーで表示を</p> <p>・検討委員意見の対応状況を住民説明会で紹介を求める</p> <p>・住宅内に知らない人の進入や車を駐車される</p> <p>・芸大金城キャンパスの活用状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 芸大金城キャンパス駐車場内では第5坑道の位置を地上部分でも色付けを行うことを検討しています。 また、市道部分や首里城公園内で地上部分に坑道の位置を示す表示が可能かについては、各管理者と対応策を検討していくことを考えております。 ➤ 検討委員会の議事概要につきましては、専用HPに掲載しておりますので、ご確認をお願いします。 ➤ 観光客が集中する首里地区の住民生活に与える影響として、県関係部局及び那覇市などの関係団体とも情報共有を行い、注意喚起策などの出来る対策を検討してまいります。 ➤ 芸大金城キャンパスは、主に公開講座を行う際に活用していることを確認しております。 	<p>参考資料</p> <p>【専用HP】 https://32okinawa.com/exhibition-committee/</p> 

第32軍司令部壕展示施設住民説明会の意見概要

住民意見	回答	参考資料
(17)その他		
・平成8年度の計画が安全対策上の制約があるとしていることは、事実と異なる	➤ 平成8年度に策定した保存・公開基本計画が実現に至らなかった理由の一つとして整理されているものと承知しております。	